

能登

佐渡

みなべ
田辺参加
無料

世界農業遺産を

撮る
伝える2022
3/12 土

14:00 - 16:00 (受付開始 13:30)

オンラインにて開催
(Microsoft Teams)参加申込
はこちらお申込みされた方へ
接続URLをお知らせ
いたします。<https://giahsmeeting.peatix.com/>プログラム
Program

第1部

映像で巡る世界農業遺産

14:00 - 14:45

重要で伝統的な農林水産業を営む地域として
認定された場所、世界農業遺産 (GIAHS)。
映像を介して、世界農業遺産に認定された3地域を巡ります。

主催者挨拶

佐渡 (約10分)

佐渡島里山農業の未来を創れ！ /
トキと人が共に生きる持続可能な社会を目指す

みなべ・田辺 (約10分)

みなべ・田辺の梅と能登の塩 夢のコラボ
～世界農業遺産認定 2地域が協力した商品開発～

能登 (約15分)

里山チェアプロジェクト
～1冊の本で伝える愛着の持てる椅子作り～

第2部

能登 × 佐渡 × みなべ・田辺
オンライン座談会

15:00 - 16:00

世界農業遺産のこと、撮影のこと、
映像や写真に込められたメッセージなど、様々な立場から、
それぞれの地域の魅力や課題について考え、話します。

司会進行

NPO法人 能登里山里海マイスターネットワーク 田畑 行輝

スピーカー

佐渡

新潟大学佐渡自然共生科学センター
コミュニティデザイン室特任助手 北 愛子
里山未来ユースワークショップ参加経験者の
高校生・大学生みなべ
田辺梅システムマイスター 中早 大輔
みなべ町役場うめ課 主幹 下浦 智久

能登

フォトグラファー 松田 咲香

— 地球環境基金助成事業 活動報告会 —

主催 NPO 法人能登里山里海マイスターネットワーク

「能登」×「佐渡」×「みなべ・田辺」
世界農業遺産を『撮る』『伝える』

撮影地域&スピーカー紹介

トキと共生する佐渡の里山

トキとの共生を目指し、田んぼの生態系に配慮した「生きものを育む農法」の取り組みや棚田などの美しい景観、昔から受け継がれている伝統的な農文化が評価され佐渡島全体が認定されています。(2011年認定)



新潟県佐渡市

Speaker

新潟大学佐渡自然共生科学センター
コミュニティデザイン室特任助手 **北 愛子**

高校生・大学生とともに農村の未来を考える「里山未来ユースワークショップ」のファシリテーターを務め、農村を担う次世代の育成に取り組んでいる。



養分に乏しく礫質で崩れやすい斜面を利用して、薪炭林を残しつつ梅林を配置し、400年にわたり高品質な梅を持続的に生産してきた農業システムで、豊かな生物多様性、独特の景観、農文化を育んでいます。(2015年認定)

みなべ・田辺の梅システム



和歌山県みなべ町・田辺市

Speaker

梅システムマイスター **なかはや だいすけ 中早 大輔**

和歌山県みなべ町なかはや果樹園園主。梅・ミニトマト・その他野菜や果樹を栽培しながら、農業体験・実習の受け入れや、他地域・他産業とのコラボに積極的に取り組んでいる(両親・妻・従業員4名)。

能登の里山里海

白米千枚田をはじめとした棚田や揚げ浜式製塩法、海女漁、炭焼きなどの伝統的生業・景観が受け継がれているほか、キリコ祭りや農耕神事「あえのこと」などの豊かな農文化や生物多様性が現代に息づいています。(2011年認定)



石川県能登地域

Speaker

フォトグラファー **まつだ さきか 松田 咲香**

石川県珠洲市出身。大学卒業後、写真事務所勤務を経て、世界各地を旅する。旅で得たたくさんの経験を糧に、現在はUターンシフリーのフォトグラファーとして活動している。地元の祭りや暮らしの撮影をライフワークにしている。



NPO法人
能登里山里海マイスターネットワーク

〒927-1204 石川県珠洲市蛸島町1097番地3

本報告会は、令和3年度独立行政法人環境再生保全機構
地球環境基金の助成を受けて開催します。

